

大分県宇佐市

1. 本地域の紹介

本地域の環境	農村、山村、漁村	「子供の農山漁村体験交流計画」の有無	無
アクセス	□車の場合：小倉東IC～宇佐市役所約90分 □電車の場合：JR小倉駅～JR柳ヶ浦駅(最寄り駅)約40分 □飛行機の場合：大阪国際空港～大分空港約1時間、大分空港～宇佐市役所バスで約70分		
本地域の概況	□宇佐市は大分県北部に位置する市で、人口約5万5千人(令和3年1月1日現在) □海岸部・平野部・山間部等の豊富で変化に富んだ地形が形成されており、その一部が世界農業遺産に認定されています。 □自然環境を活かした多様な農業や、6次産業、グリーンツーリズムでの観光業が盛んに行われています。 □農泊発祥の地として農業体験・農村体験・農食体験といった地域の特色を生かした受入を実施しています。 □戦争の歴史を現在に伝える戦争遺構群が多数残っており、平和を体感する平和ツーリズムに取り組んでいます。		



2. 令和元年度における「子供農山漁村体験交流」の受入実績

①学校教育による受入校数						②社会教育による受入件数	③自治体連携による交流先
小学校	1校	中学校	24校	高等学校	2校	5件	無

※③：2つの自治体間で「子供農山漁村体験交流に取り組むこと」を合意し、「送り手側と受入側の役割」を分担して実施した取組

3. 本地域で提供できる体験・交流メニューの紹介

メニュー1：農泊発祥の地“安心院”の農泊体験

体験の分類	農業・林業・漁業・自然環境・食・交流		
実施概要	安心院周辺地域の受入家庭に宿泊しながら野菜の収穫、地域散策、農村のあるがままの生活を体験することができます。		
対象学年	小学生高学年・中学生・高校生		
実施環境	屋外・屋内の双方	時期	通年
所要時間	1泊	最大受入可能人数(人)	180人
最低価格	9,800円(税込)/1名 1泊2食及び体験代 昼食は別途800円(税込)		



メニュー2：グリーンツーリズム日帰り体験

体験の分類	農業・林業・漁業・自然環境・食・交流		
実施概要	安心院周辺地域の受入家庭に滞在し、野菜の収穫や竹細工、郷土料理作り等を受入家庭と交流しながら体験することができます。		
対象学年	小学生高学年・中学生・高校生		
実施環境	屋外・屋内の双方	時期	通年
所要時間	3時間	最大受入可能人数(人)	150人
最低価格	2,500円(税込)/1名 昼食は別途1,200円(税込)		



メニュー3：青空BBQ

体験の分類	農業・自然環境・食・交流・スポーツ・レジャー		
実施概要	ブドウ畑に囲まれた広々としたスペースでBBQ		
対象学年	小学生高学年・中学生・高校生		
実施環境	屋外(雨天決行)	時期	通年
所要時間	3時間	最大受入可能人数(人)	200人
最低価格	3,300円(税込)/1名		



その他の交流・体験のメニューの紹介

屋外で実施するメニュー	収穫体験・田植え・稲刈り・栗拾い・シイタケの駒打ち・薪割り体験・自然散策
屋内で実施するメニュー	郷土料理作り・おもちつき・囲炉裏(いろり)体験
屋内・屋外で双方で実施できるメニュー	クラフトワーク(竹・わら細工、草木染)
体験・交流メニューの紹介サイトのURL	http://www.ajimu-gt.jp/
モデルプランの紹介サイトのURL	

4. 本地域における「子供農山漁村体験交流」の受入体制

(1)受入対象

教育種別	学校教育・社会教育	学年別	小学校高学年・中学生・高校生
------	-----------	-----	----------------

(2)受入可能な期間

日帰り	可	1泊2日	可	2泊3日	可	3泊4日	要相談	4泊5日以上	要相談
-----	---	------	---	------	---	------	-----	--------	-----

(3)手配できる交流先の候補

受入時のスタッフ	可	ホームステイ先	可	地域内の小学校	不可	地域内の中学校	不可
地域内の高等学校	不可	その他	ぶどう農家				

(4)1回当たりの宿泊定員(人)

ホームステイ(受入家庭先への分泊)	本地域のみで受け入れる場合 150人、近隣地域と連携して受け入れる場合 180人
集団宿泊	0人
キャンプ場・コテージ等	0人

(5)安全面と事前交流・事後交流の対応

①「地域内での緊急連絡体制(医療機関、消防署、警察、行政等)」の整備	整備済
②「本地域・近隣地域にある24時間診療可能な医療機関との連携体制」の整備	整備済
③「受入関係者向けの安全管理基準(ガイドライン、マニュアル等)」の策定	整備済
④「感染症拡大予防ガイドライン・マニュアル等」の策定	整備済
⑤「アレルギー・障がい等を抱える子供への配慮」の対応	可
⑥受入窓口による「体験・交流中の傷病・事故・災害等発生時の連絡・調整」の対応	可
⑦「対面・オンラインによる地域人材との事前・事後交流、講義等」の実施	可

5. 本地域での「子供農山漁村体験交流」に係るお問い合わせ先

子供農山漁村体験交流の受入窓口	NPO法人安心院町グリーンツーリズム研究会				部署名	
	団体構成					
	TEL	0978-44-1158	E-MAIL	japan-ajimu-gt@basil.ocn.ne.jp		
	住所	〒872-0521 大分県宇佐市安心院町下毛1195-1				
	URL	http://www.ajimu-gt.jp/				
自治体の担当部署	部署名	安心院支所産業建設課	E-MAIL	2green06@city.usa.lg.jp		
	TEL	0978-44-1113	URL	https://www.city.usa.oita.jp/		